

肝疾患患者の悩みをどう聞か

富山県立中央病院 消化器内科
看護部副主幹 古川 市子
平成25年12月6日

富山県立中央病院の紹介



富山県立中央病院の概要

- ・ 病床数 7 3 5 床
- ・ 職員数 9 8 5 名
- ・ 診療科 2 3 科
- ・ 平成 2 4 年度の平均患者数
 一日当たり入院数 6 4 3 名
 外来数 1 4 5 6 名（平成 2 5 年 4 月現在）

本日の内容

- 1.肝臓病教室の開催までの流れ
- 2.肝臓病教室の取り組みについて
- 3.肝臓病教室アンケートより実際の悩み、不安、事例紹介について
- 4.インターフェロン治療患者さんの悩み、不安、肝臓病安心手帳について

毎日毎日が忙しい外来業務

- どのようにすれば患者さんと話ができるか？
- 患者さんは看護師に何を望んでいるか？
- 今患者さんに何をしてあげることができるか？
- 今患者さんに必要なことは何か？

患者さんに何ができるか考える必要がある

肝疾患患者さんの悩みを
どのようにしたら聞く事ができるか



本日の内容

- 1.肝臓病教室の開催までの流れ
- 2.肝臓病教室の取り組みについて
- 3.肝臓病教室アンケートより実際の悩み、不安、事例紹介について
- 4.インターフェロン治療患者さんの悩み、不安、肝臓病安心手帳について

患者さんの悩み相談に関する質問の声 ・思い

- 診察の時、先生は忙しそうなのでもう少し話を聞きたくてもできない。
- 診察後帰宅、家族に先生にもう一度話を聞きたいと言われたが機会を持つのが大変で難しい。
- 看護師さんは忙しそうでなかなか声を掛けられない。
- 悩み相談の電話をとりついてもらうのが難しい。わざわざ病院に行っても担当の看護師さんに会えないこともあり残念。
- もう少し担当の先生や看護師さんと話がしたい、悩みを聞いて欲しい。

肝臓病教室見学の機会から

- K大学病院の肝臓病教室を見学
(消化器内科医師、栄養士、看護師で見学)
- K大学病院では、医師、栄養士の講義スタイル
- 患者さん自由参加
- 情報交換の場で患者さんが、いきいきと発言されていた、リピータも多いと聞いた。
- 講義だけではなく患者参加スタイルで他のコメディカルも参加したら良い。

肝臓病教室見学後 当院で取り組みたい検討事項

- 定期的開催にすれば患者さんに話しをする機会が持てる。
- 患者さん、家族も参加なら自然に相談、悩みを聞く機会ができる。
- 看護師、医師、栄養士、薬剤師などの他職種とのかわりも必要。
- 患者さんからの相談窓口として対応できるように取り組みたい。

肝臓病教室の目的

- ①肝疾患でインターフェロン治療など長期的な治療を受ける患者さんが、治療や検査内容を理解し自己管理をすることができ、前向きな生活を送れる。
- ②医療者から有意義な指導と支援を行う。
- ③患者からの不安、悩みを相談できる機会とする。
- ④消化器内科医師、栄養士、薬剤師、看護師が運営する。
- ⑤教室は、**事前予約申し込み、当院消化器内科通院中の患者さんとその家族を対象**とする。

本日の内容

- 1.肝臓病教室の開催までの流れ
- 2.肝臓病教室の取り組みについて
- 3.肝臓病教室アンケートより実際の悩み、不安、事例紹介について
- 4.インターフェロン治療患者さんの悩み、不安、肝臓病安心手帳について

肝臓病教室開催内容、年間計画

24年度は4回実施、木曜日、時間14時30分～16時30分

1.肝臓病と日常生活の注意

6月14日（木） 14時30分～16時30分

2.慢性肝炎とは？ 抗ウイルス療法

9月13日（木） 14時30分～16時30分

3.肝硬変とその合併症に対する治療

12月13日（木） 14時30分～16時30分

4.肝硬変から肝がんへ 肝臓の検査では何をみているか

3月14日（木） 14時30分～16時30分

第2回 肝臓病教室のご案内

このたび、肝臓病に対する正しい知識と食事療法の実践をすすめるために、下記のとおり肝臓病教室を開催します。

また、家庭で食事を作られる方もご出席いただければ、一層効果が上がると思いますので一緒にご参加下さい。

記

1 日 時 平成 25年 9月 12日 (木)

午後2時30分 ~ 午後4時30分

2 場 所 外来診療棟 5階ホール

3 内 容 (1) 慢性肝炎・抗ウイルス療法について . . . 酒井内科部長
(2) インターフェロン治療について . . . 薬剤師
(3) 慢性肝炎の食事について . . . 管理栄養士
(4) 情報交換会 . . . 内科医師、看護師
管理栄養士、薬剤師

4 申し込み方法

出席をご希望の方は、9月 9日 (月) までに 内科8診 の 古川看護師へ
お申し込み下さい。

肝 臓 病 教 室 の ご 案 内

このたび、肝臓病に対する正しい知識を深め、食事療法の実践を深めるために、下記のとおり肝臓病教室を開催します。

家庭で食事を作られる方もご出席いただければ、一層効果が上がると思いますので一緒にご参加ください。

記

1 日 時

第2回 平成25年9月12日(木) 午後2時30分～午後4時30分

2 会 場 外来診療棟5階 ホール

3 内 容

- | | |
|----------------------|--------------------|
| (1) 慢性肝炎・抗ウイルス療法について | 酒井内科部長 |
| (2) インターフェロンの治療について | 薬剤師 |
| (3) 慢性肝炎の食事について | 管理栄養士 |
| (4) 情報交換会 | 内科医師、看護師、管理栄養士、薬剤師 |

4 持ち物 肝臓病教室のテキストをお持ちの方は持参下さい。

5 申し込み方法

第2回の締め切りは9月9日(月)です。出席を希望される方は、締め切りまでに申込書を内科8診担当看護師(古川)にお渡しください。

〈連絡先〉

富山県立中央病院 内科8診 076-424-1531(内線 2318)
栄養管理科 // (内線 3054)

なお、教室受講の際は集団栄養指導料(240円程度)が必要となります。

※ 当日は、1階で再診受付機に診療券を通してから、会場にお越しください。

＜切り取り線＞

第2回 肝臓病教室申込書

氏 名 _____
生年月日 _____
診察券の番号 _____
主治医 _____
身長・体重 身長 _____cm 体重 _____kg

* 肝臓病の治療に関してお聞きになりたいことがあれば、お書き下さい。

肝臓病教室申し込み時の患者さんの質問、思い

- ・ 何を食えば肝臓に良いのか、家族、友人が肝臓に良いとサプリメントを勧めるが本当に良いのかわからない。お金もかかる。
- ・ うこん、しじみ、牡蠣が肝臓に良いと言われ毎日食べているが本当に良いのかわからない
- ・ 新しい治療について知りたい。
- ・ 本人が家では病気の事は何も言わないので肝臓病としかわからない、癌でないかと心配です。受け持ちの先生にも会いたい。
- ・ 教室で勉強したいと思うけど、自分がC型肝炎だと人に知られるのが嫌で出席できない。

スタッフ間での教室実施の 打ち合わせについて

- ・ 年間教室の講義のテーマ、内容について決定する。
- ・ 他部門との連絡調整
- ・ 会場の確保と準備、役割分担の確認
- ・ 教室開催5-10日前に出席者リストを作成しグループメンバーをできるだけ同病名者毎にできるように配慮する。
- ・ 教室終了後アンケートの記入に今後の参考にする。





平成25年度 肝臓病教室のご案内

肝臓は、我々が生きていくうえで、最も重要な臓器の一つです。肝臓の病気は、初期には症状がほとんどありません。しかし、進行すると、黄疸、食欲不振、体重減少、腹膨満感などの症状が現れます。肝臓の病気は、早期発見・早期治療が重要です。本教室では、肝臓の病気について、最新の医療情報を提供し、患者様と医療者の間で、相互理解を深め、適切な治療を受けるための機会を創出します。

1. 講義
2. 質疑応答
3. 懇話会

時間	内容	講師
13:00 - 13:30	肝臓の解剖と生理機能	佐藤 健一
13:30 - 14:00	肝臓の病気の種類と診断	佐藤 健一
14:00 - 14:30	肝臓の病気の治療法	佐藤 健一
14:30 - 15:00	肝臓の病いの予防と生活習慣	佐藤 健一
15:00 - 15:30	肝臓の病いの最新医療情報	佐藤 健一
15:30 - 16:00	肝臓の病いの最新医療情報	佐藤 健一
16:00 - 16:30	肝臓の病いの最新医療情報	佐藤 健一
16:30 - 17:00	肝臓の病いの最新医療情報	佐藤 健一

会場：第1病棟 3F 会議室
参加費：無料
申し込み：肝臓病教室事務局（〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1）
電話：03-XXXX-XXXX
FAX：03-XXXX-XXXX
Eメール：heisei25@heisei25.jp

第1回 肝臓病教室のご案内

肝臓は、我々が生きていくうえで、最も重要な臓器の一つです。肝臓の病気は、初期には症状がほとんどありません。しかし、進行すると、黄疸、食欲不振、体重減少、腹膨満感などの症状が現れます。肝臓の病気は、早期発見・早期治療が重要です。本教室では、肝臓の病気について、最新の医療情報を提供し、患者様と医療者の間で、相互理解を深め、適切な治療を受けるための機会を創出します。

1. 講義
2. 質疑応答
3. 懇話会

1. 肝臓の解剖と生理機能
2. 肝臓の病気の種類と診断
3. 肝臓の病気の治療法
4. 肝臓の病いの予防と生活習慣
5. 肝臓の病いの最新医療情報

会場：第1病棟 3F 会議室
参加費：無料
申し込み：肝臓病教室事務局（〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1）
電話：03-XXXX-XXXX
FAX：03-XXXX-XXXX
Eメール：heisei25@heisei25.jp



内科外来



肝臓病教室の掲示







肝硬変のチェックポイント

- 原因 酒、肥満、自己免疫性肝炎など
- 経過 家族性(チャイルド分限)
- 全身 高ビリロビン、黄たんぱく? 腹分は?
- 臓器 側腹するorしない?
- 合併症対策
腹水、肝性脳症、消化管出血、糖尿病
- 肝臓のスクリーニング

6月9日(木)
肝臓病食2
たんぱく質70g
- 1800Kcal

Handwritten table of contents for 'Mathematics' (算学) in a notebook. The table lists various mathematical topics and their corresponding page numbers.

算 学		頁
算術	算術	1
代數	代數	2
幾何	幾何	3
三角	三角	4
微分	微分	5
積分	積分	6
確率	確率	7
統計	統計	8
算術	算術	9
代數	代數	10
幾何	幾何	11
三角	三角	12
微分	微分	13
積分	積分	14
確率	確率	15
統計	統計	16

[illegible]

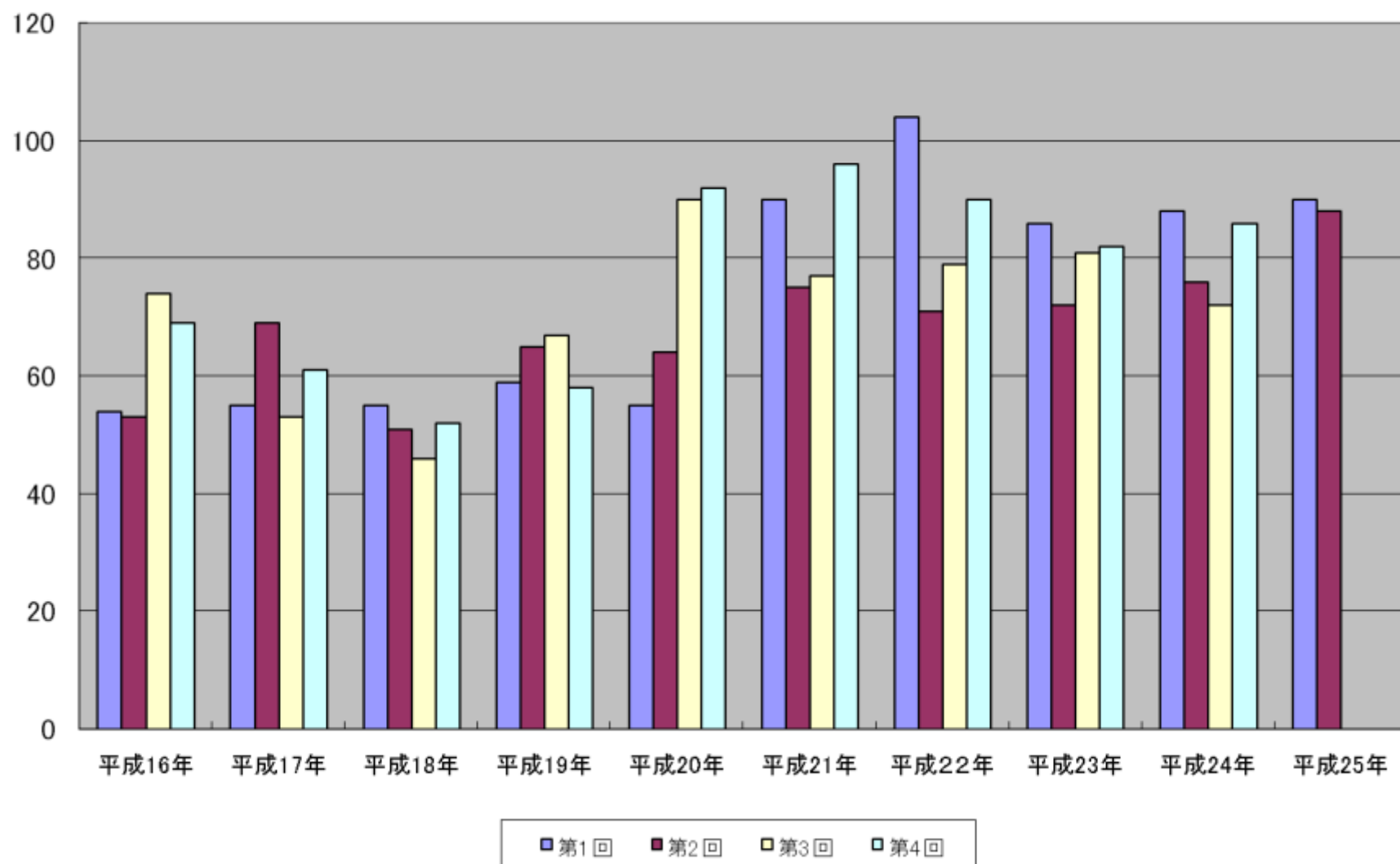








肝臓病教室 受講者人数



本日の内容

- 1.肝臓病教室の開催までの流れ
- 2.肝臓病教室の取り組みについて
- 3.肝臓病教室アンケートより実際の悩み、不安、事例紹介について
- 4.インターフェロン治療患者さんの悩み、不安、肝臓病安心手帳について

事例紹介

68歳男性、C型肝炎、 アルコール性肝硬変、肝細胞癌

- 2008 ペグイントロン+リバビリン施行
- 2008～2009 ペガシス+コペガス施行
- 強ミノ施行も効果なし
- 2013.5 肝細胞癌

やっぱり、癌出てきたわ、
どうなるか心配でならんわ



事例紹介

69歳女性、C型肝炎、 多発肝細胞癌

- ・ 平成12年初発HCCにPEIT
- ・ 平成15年再発、回復RFA
- ・ 平成19年～21年RFA
- ・ 平成22年～25年TAE



先生は体力が落ちているから様子を見るしかないと言われるけど、何か治療をして欲しい。
このまま何もしないといつまで生きて
おれるかわからない。

事例紹介

69歳男性、B型慢性肝炎からB型肝炎硬変、 肝細胞癌

- ・ 平成20年B型肝炎硬変にバラクルード内服
- ・ 平成22年肝細胞癌に対し切除術
- ・ 平成23年、24年、25年CTガイドRFA
- ・ 平成25年6月に多発再発判明、次なる治療としてネクサバル開始。しかし全身倦怠感、脱毛強く内服中止。緩和ケア中心の加療

覚悟はできている、
黒髪で毛の量が多いのが自慢だった、
こんなに辛いならネクサバル
飲まなければよかった。
いつまで生きられるか。



肝臓病教室無記名アンケート、治療について

- 肝臓癌の薬剤治療の限界と余命について心配で悩んでいます。
- 病気の症状が出て治療が遅れた場合どんな経過をたどるのか心配です。
- 肝臓病にアルコールがだめと、先生と看護師さんから指導されているけどやめたくない、病気も怖い、治療は受けたい、他に生きがいもない。
- 肝臓病に酒は駄目だと知っていますが、本人はなかなかやめることができません。治療も途中で行かない事もあるようです。



肝臓病教室無記名アンケート、患者さんの症状より

- 病気からくるだるさに対する処置に悩んでおります。だるい時は横になるようにしていますが、いろいろ問題があると感じます。
- 体のだるさに寝るしかないと悩んでいます。
- 肝炎で辛い事は終日なんとなく体がだるい事です。対処法を教えてください。



肝臓病教室無記名アンケート

- ・ インターフェロンでウイルスが消えなくて残念、新しい治療を待っているが待つうちに病気が悪くならないか不安です。
- ・ 新治療法が出来ているのに、症状が進んでしまっているのが残念、自分はどうなるのか不安です。
- ・ インターフェロンを受けるつもりだが年齢（73才）の問題もあり心配です。
- ・ B型肝炎で通院中です。抗ウイルス薬をいつまでも飲まなくてはいけないことが不安で悩みです。
- ・ 難治性高ウイルスといわれているので新薬について知りたい、今後が不安でならないです。
- ・ 肝硬変の進みが心配、家族に話していないのが悩みです。

本日の内容

- 1.肝臓病教室の開催までの流れ
- 2.肝臓病教室の取り組みについて
- 3.肝臓病教室アンケートより実際の悩み、不安、事例紹介について
- 4.インターフェロン治療患者さんの悩み、不安、肝臓病安心手帳について

インターフェロン導入が決定 できない患者の理由

- 忙しくて、入院や通院ができない。
- 副作用が心配。
- 経済的に苦しい。
- 自覚症状がなく必要ない。
- 高齢だから。



インターフェロン治療に臨む患者の思い

- 新しい治療を待っていた。
- 副作用が心配。
- 医療費の負担が心配。
- とにかく続けたいです。
- 治療は受けたいが仕事が休めない。
- 家族も理解してくれた。頑張りたい。



事例紹介

66歳女性、C型慢性肝炎,肝硬変

- ・ インターフェロン治療勧められるも未治療

以前からインターフェロン治療を勧められていたがアレルギー体質があり、副作用が心配でできない。肝臓病教室に初めて出席してインターフェロン治療を受け入れる気持ちになった。

しかし血小板少ないと言われ、
待ち時間も体力が持つか心配で不安でならない。



事例紹介

67歳女性、C型慢性肝炎

- ペグイントロン、リバビリン、テラプレビル3剤併用療法継続治療中
- 治療終了時、ウイルス検出せず



今ウイルスは消えているけど
注射しなくなったらまたウイルスが
出てこないか心配です

事例紹介

52歳女性、C型慢性肝炎初回治療

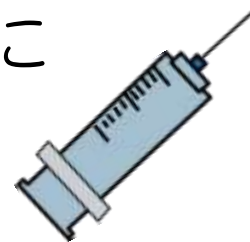
- ・ 病院受診精査後C型慢性肝炎と診断
- ・ インターフェロン治療勧められる

インターフェロン治療が一番の治療と医師に勧められている。治療を受けようと思うが、副作用が怖くて決められない。特に脱毛が気になり、元にもどるか心配、つるつるになったらどうしようと思う。不安でならない。



肝臓病安心手帳について

インターフェロン治療を受ける患者さんのために



肝臓病安心手帳

ーインターフェロン治療を
受ける方へー



氏名 _____

お名前 _____

肝臓専門病院名 _____

主治医 _____

連絡先 TEL _____

かかりつけ医院 _____

主治医 _____

連絡先 TEL _____

病 名 1) C型慢性肝炎 2) C型肝炎（代償期）

ウイルス型 1b, 2a, 2b, その他 (_____)

ウイルス量 _____
(測定法 Teqman, ハイレンジ法, _____)

合併症 1) 糖尿病
2) 高血圧
3) 甲状腺疾患
4) その他 (_____)

肝生検 なし、あり (西暦 _____ 年 _____ 月 _____ 日)

F (0, 1, 2, 3, 4)

A (0, 1, 2, 3)

治療目的 a) ウイルス排除、b) 肝硬変・肝癌への進展予防

インターフェロン治療 a) 初回、b) 再治療

治療開始日：西暦 _____ 年 _____ 月 _____ 日

治療内容

a) ペガシス+コペガス併用療法

初回投与量 ペガシス 90 μ g, 180 μ g

コペガス 1, 2, 3, 4, 5錠

b) ペグイントロン+レベトール併用療法

初回投与量

ペグイントロン 50, 60, 80, 100, 120, 150 μ g

レベトール 2, 3, 4, 5カプセル

c) インターフェロン単独療法

種類 (ペガシス, _____)

投与量 (_____)

併用薬 (_____)

予定治療期間 a) 24週 b) 48週 c) その他 _____ 週

ウイルス消失した時期 a) 4週 b) 8週 c) 12週
d) 36週以内

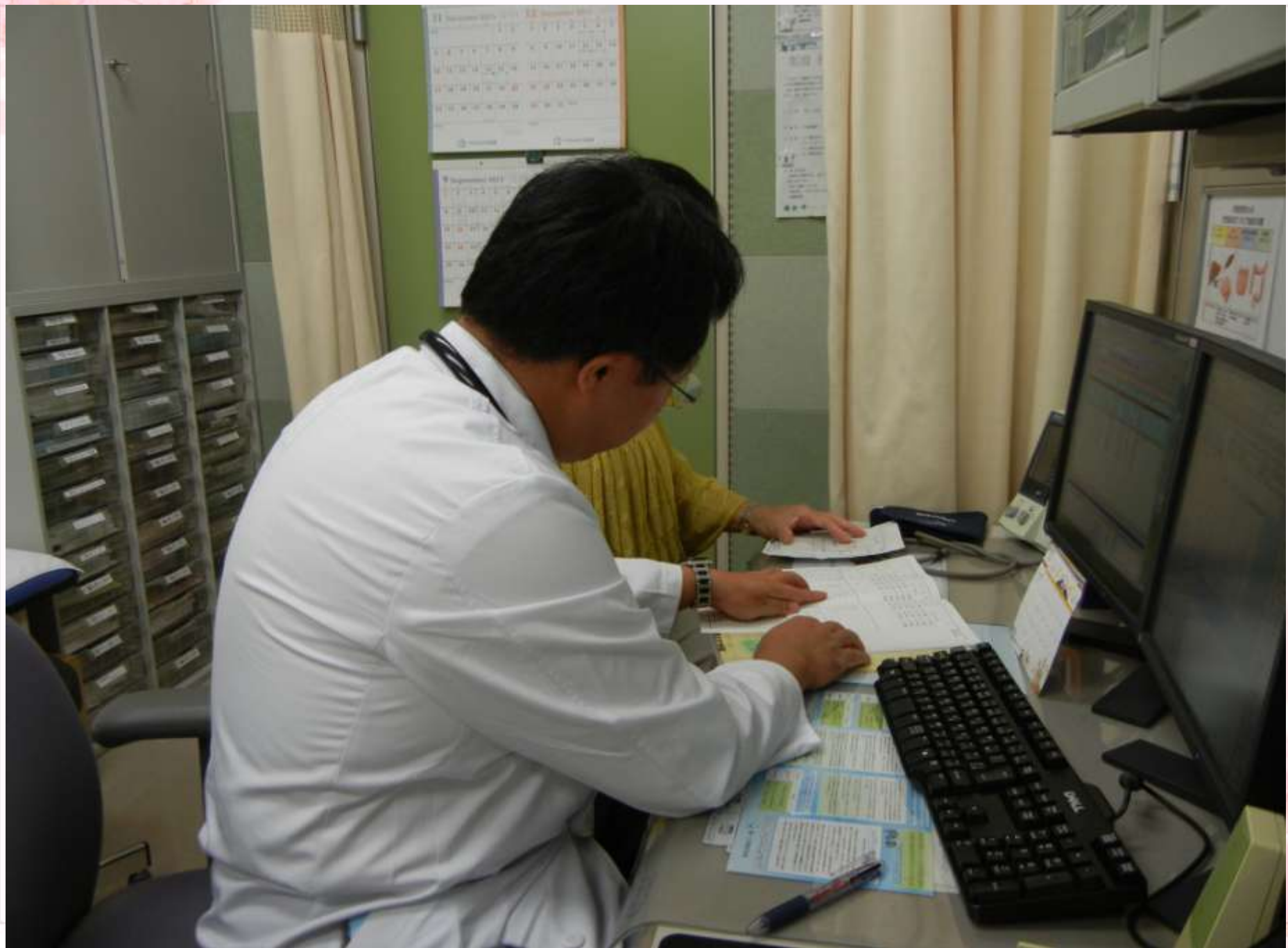
治療期間の延長 a) 48週に延長 b) 72週に延長
c) _____ に延長



	1月26日	2月2日	2月10日	2月16日	医師との 連絡事項
	第1週目	第2週目	第3週目	第4週目	
だるさ	無 軽度 中 高度	無 軽度 中 高度	無 軽度 中 高度	無 軽度 中 高度	
かゆみ	無 軽度 中 高度	無 軽度 中 高度	無 軽度 中 高度	無 軽度 中 高度	
食欲低下	無 軽度 中 高度	無 軽度 中 高度	無 軽度 中 高度	無 軽度 中 高度	
不眠	無 軽度 中 高度	無 軽度 中 高度	無 軽度 中 高度	無 軽度 中 高度	
せき	無 軽度 中 高度	無 軽度 中 高度	無 軽度 中 高度	無 軽度 中 高度	
体重 (kg)	50.7		60.1	60.6	
その他			肝生検時の注射した腕の痛み → 痛みはあまり気にならなく 指が痛いです。 → 治ってきた。 ・便がゆるい、少し水っぽいな。 → あいかわらずゆるい... ・サウナで気持ち悪くなった。 10リットルが仕事。目の疲れ やすい。アイマスクがほしい。		
白血球	6300		2500	2800	
好中球	2580		907.5	184.4	
赤血球	448万		402万	465万	
ヘモグロビン	12.8		12.6	12.3	
血小板	22.1万		19.9万	18.7	
HCVRNA	3.0				
インターフェロン	Do バグイナ1000	Do	Do	Do	
リバビリン	Do レバトル 300mg	Do	Do	Do	

	1 月 14 日	1 月 21 日	1 月 28 日	2 月 3 日	医師への 連絡事項
	第 37 週 目	第 38 週 目	第 39 週 目	第 40 週 目	
だ る さ	(無) 軽度 中 高度	(無) 軽度 中 高度	(無) 軽度 中 高度	無 軽度 中 高度	
か ゆ み	無 軽度 中 高度	無 (軽度) 中 高度	無 (軽度) 中 高度	無 軽度 中 高度	
食 欲 低 下	(無) 軽度 中 高度	(無) 軽度 中 高度	(無) 軽度 中 高度	無 軽度 中 高度	
不 眠	(無) 軽度 中 高度	(無) 軽度 中 高度	(無) 軽度 中 高度	無 軽度 中 高度	
せ き	(無) 軽度 中 高度	(無) 軽度 中 高度	(無) 軽度 中 高度	無 軽度 中 高度	
体 重 (kg)					
そ の 他	135/76 (82)	うき身中位の時 かゆみ ⊕	130/70 87 2/3 尿中 LDH 4k		
白 血 球				1500	
好 中 球				585	
赤 血 球				3.73	
ヘモグロビン				11.7	
血 小 板				64000	
HCVRNA					
インターフェロン	Do 150	Do 150 μg	Do 150 μg	(Do) 150 μg	
リバビリン	Do 1000 μg	Do 1000 μg	Do 1000 μg	(Do) 1000 μg	







肝臓病教室無記名アンケート、インターフェロン治療中の患者の悩み、不安

- 食欲が無い、何を食べても美味しくない。
- 味覚が変わり何を食べても味がしない。一口食べるともう食べれない。
- なんとなく眠れない。熟睡できない
- 元気がでない、すぐ横になりたい。
- 髪の毛が抜ける、また元にもどるか不安でならない。
- 皮膚が痒い、全身が痒い。
- 治療中はいいいけど、インターフェロン注射が終了したらウイルスがでないか不安です。

インターフェロン導入後の 患者の思い

- 副作用が辛い。
微熱・体がだるい・発疹・食欲減退・脱毛
- 思っていたより体の負担が少なく安心した。
- 検査結果で治療が続けられるか不安がある。
- 不安はあるが、結果を楽しみに頑張る。
- 趣味を楽しみながら最後まで頑張る。
- 周囲が協力的で頑張れる。



今後の課題

- 肝臓病教室への患者さんの関心を高め、自主的に参加してもらえるよう、内容の再検討が必要である。
- 患者さんの背景は様々であり、患者さんの理解度を考えた用語の選択が必要である。
- 肝臓病教室の内容が多岐にわたり、患者さんの疲労度が増しており、質疑応答の時間が十分取れないなどの問題がある。



終わりに

- 肝疾患患者、インターフェロン治療を受ける患者さんが、長期に亘る治療を継続できるように患者さんと良い信頼関係を築く事が大切です。
- 肝臓病教室の取り組みで患者さん、ご家族と、医療者間のより良い援助を継続する事を大切にしています。







